

# 回 覧

令和4年度 学術部発 13号

岐臨技会員・賛助会員 各位

(一社)岐阜県臨床検査技師会  
会 長 棚村 一彦 <公印略>

臨床一般部門長 林 晃司

## 令和4年度 岐臨技研修会のご案内

<第2回 臨床一般部門研修会>

日 時 : 令和4年9月25日(日) 13:00 ~ 15:30

場 所 : LIVE 配信 (Zoom ウェビナー)

内 容 : 「精度管理中間報告と炎症性腸疾患 (IBD) を学ぼう」  
13:00 ~ 13:30 「精度管理中間報告」  
講師: 岐阜県総合医療センター 中央検査部 建部 雅彦 技師  
13:30 ~ 14:00 「炎症性腸疾患における便中カルプロテクチンの有用性」  
講師: 栄研化学株式会社  
「便中カルプロテクチンの導入事例」  
講師: 岐阜赤十字病院 検査部 林 晃司 技師  
14:00 ~ 14:30 「新規 IBD 活動性マーカーロイシンリッチ $\alpha$ 2 グリコプロテイン (LRG) の臨床的意義」  
講師: 積水メディカル株式会社  
「LRG の導入事例」  
講師: 岐阜大学医学附属病院 検査部 加藤 洋平 技師  
14:30 ~ 15:30 「炎症性腸疾患 (IBD) の臨床~最新の治療戦略まで~」  
講師: 岐阜赤十字病院 院長補佐兼消化器部長 松下 知路 先生

参加申込: 日臨技 HP 会員専用サイト > 講習会等の参加申請~ > 事前申込みよりお申し込みをお願いします。

参加費 : 無料

申込期限: 令和4年9月18日(日)

定 員 : 150名

参加方法: Zoom ウェビナーを使用します。視聴のみであればカメラならびにマイクは不要です。  
日臨技登録メールアドレス宛にリンク URL およびミーティング ID、パスコードを送付致します。

参加確認: Zoom のご案内とともにアンケート (レポート) フォームを送付させていただきます。事前参加申込登録、フォームの送信、Zoom の参加履歴をもって参加とさせていただきます。

**この研修会は日臨技生涯教育制度に事前登録したもので、研修会参加者には基礎教科(20点)として認定されます**

**研修会終了1週間後以降に各自で参加登録及び点数の確認していただくようお願いいたします。**

連絡先 岐阜赤十字病院 検査部 林 晃司(214505)

TEL 058-231-2266(5154)

E-mail:gifu\_rinshouippan@yahoo.co.jp

## 【講師のご略歴】

平成 04 年(1992)3 月 岐阜大学医学部卒業  
平成 04 年(1992)4 月 岐阜大学医学部附属病院第一内科入局  
平成 10 年(1998)3 月 岐阜大学大学院医学研究科博士課程学位取得  
平成 10 年(1998)4 月 岐阜大学医学部附属病院第一内科医員  
平成 10 年(1998)8 月 国保関ヶ原病院内科  
平成 14 年(2002)10 月 朝日大学村上記念病院消化器内科助手  
平成 16 年(2004)11 月 岐阜赤十字病院消化器内科  
平成 29 年(2017)4 月 岐阜赤十字病院消化器内科部長  
現在に至る

所属学会 専門医  
日本内科学会認定医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本肝臓学会専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本緩和医療学会

## 【研修会の目的】

炎症性腸疾患 (inflammatory bowel disease : IBD) と呼ばれ、広い意味では腸に炎症を起こす全ての病気を指しますが、狭い意味では「潰瘍性大腸炎」と「クローン病」のことを意味します。潰瘍性大腸炎もクローン病も今のところ原因がはっきりとはわかっておらず、病状が悪い時期（再燃期）と落ち着いている時期（寛解期）を繰り返すのが特徴です。若い人に発症することが多く、日本では 1990 年代以降、急激に患者数が増え続けており、潰瘍性大腸炎は 20 万人（米国に次いで世界で 2 番目に多い）、クローン病は 7 万人を超える患者さんがいます。潰瘍性大腸炎、クローン病ともに医療費の一部を国が補助する特定疾患（いわゆる難病）に指定されています。今回、検査法と診療の実際を講演してもらいます。